

平成26年度事業報告

本会は、公益財団法人として適正な運営に努めるとともに、県民の健康増進と体力向上による、豊かな活力に満ちた地域社会づくりに寄与するため、「競技力の向上」と「生涯スポーツの振興」を目指して次の事業を実施した。

競技力向上対策事業

1 競技スポーツ推進事業

中・長期的に競技水準を維持・向上させ、全国や世界で活躍する選手の継続的な育成を図るため、競技力の基盤を支える少年の強化と地域の特色を生かした競技スポーツの充実を図った。

山口県競技力向上対策委員会において、長崎国体の目標を総合成績10位台としたが、総合成績22位と目標の達成にあと一步であった。

(1) 山口県競技力向上対策委員会

中・長期的に競技水準の維持・向上を図るため、競技力向上対策委員会を開催し、競技スポーツの普及と競技力向上の推進を図った。

◆年2回開催（11月、3月）

(2) チームやまぐちパワーアップ事業

① 有望競技(種別)への重点強化支援

国体総合成績10位台の達成・定着に向け、国体等で入賞可能な有望競技(種別)の強化に係る練習、対外試合、合宿などの選手強化活動を重点的に支援した。

◆40競技団体

② 優秀選手指定制度の創設

国体等で活躍が期待される選手を「優秀選手」として指定し、その活動を支援することにより、山口県代表選手としての誇りと自覚を促すとともに、県内定着やふるさと選手の確保・活用を行い、成年競技における競技力の向上を図った。

◆25競技142名

③ ふるさと選手の確保・活用支援

「ふるさと選手」の発掘・勧誘や県内選手との合同練習会への招へいなど、ふるさと選手の確保・活用を支援し、成年競技における競技力の向上を図った。

◆25競技団体

④ トップ選手合同強化練習会の開催支援

成年、高校生、中学生など各世代の優秀選手や指導者が一同に会した合同練習会の開催を支援し、中・高校生の競技力向上を図るとともに、指導者間の連携、情報交換の促進、指導力の向上を図った。

(3) 特殊用具等整備事業

練習競技用具、特殊用具・備品等の整備を支援した。

◆1競技団体支援（自転車）

(4) 手づくりアスリート育成事業

① 強化・育成拠点校の支援

全国大会・国体等での活躍が期待される県内高校等の強化・育成拠点校に対し、

部活動の日常的な練習や外部指導者の招へいなどに対し重点的な支援を行うとともに、中学校・高等学校の一貫した強化体制に努め、少年競技における競技力の向上を図った。

◆ 31 競技 39 校 65 部指定

③ トップスポーツクラブの活動支援

県内の企業・大学等をトップスポーツクラブとして強化指定し、日常的な練習に対し重点的な支援を行うことにより、成年競技における競技力の向上を図った。

◆ 15 競技 18 クラブ指定

(5) 次世代アスリート育成事業

① ジュニア発掘・育成支援

競技人口の少ない競技において、各競技団体が行なう、スポーツ医・科学を活かした体力測定や体験教室、山口国体に向けて培った競技専門プログラム等の選手育成システムなどを支援することにより、ジュニアの発掘・育成を行い、競技力の向上を図った。

◆ 21 競技団体（未普及競技）

② 中学生育成・強化支援

全国大会・国体等での活躍を目指して、県中学校体育連盟に対し、部活動の日常的な練習や外部指導者の招へい等に対し重点的な支援を行なうとともに、中学校・高等学校の一貫した強化体制の構築を図り、少年競技における競技力の向上を図った。

◆ 18 競技（中学校体育連盟加盟競技）

(6) 山口次世代コーチーズ育成事業

① トップコーチ育成支援

県内指導者等が、中央競技団体や公益財団法人日本体育協会等の指導者研修会に参加し、国体監督の資格等を取得するとともに、県内指導者への伝達講習会を実施する等により、県内指導者の資質向上を図った。

◆ 11 競技団体

② コーチングセミナー支援

全国トップレベルの指導者を招へいし、県内強化練習会等で選手への直接指導と同時に、県内指導者の研修会等を行うことにより、県内指導者の資質向上を図った。

また、全国トップレベルの指導者をスーパーアドバイザーとして、年間定期的に県内強化練習会等に招へいし、強化拠点における県内指導者の資質向上を図った。

◆ 29 競技団体

(7) チームやまぐちチャレンジ強化事業

全国トップレベルのチームや選手を招へいし、強化試合等を行うことにより、チームや選手・指導者の強化を図った。また、強化試合等をジュニアに観戦させることで、ジュニアの発掘・育成を図った。

◆ 28 競技団体

(8) トップ指導者活用事業

競技水準の維持・向上及び指導者等の資質向上を目的として、全国から招へいしたトップレベルの競技者・指導者を引き続き恒常的に確保するとともに、こうした人材を活用して競技スポーツ及び地域スポーツの普及促進に取り組んだ。

◆ 14 名

(9) スポーツ医・科学サポート事業

スポーツ医・科学を活用した科学的データに基づき、競技特性や選手個々の技能・身体の発達段階を踏まえたサポート体制の充実に取り組むとともに、日本スポーツ振興センター等との連携により、将来の有望選手を育成する「YAMAGUCHI ジュニアアスリートアカデミー」を実施した。

また、ドーピング防止教育等を実施し、健全なスポーツ活動の推進に努めた。

◆ジュニアアスリートサポート

- ・ 11 競技 27 団体 30 回

◆サポートスタッフ派遣

- ・ スポーツドクター、スポーツトレーナーの派遣
- ・ スポーツトレーナー研修会

◆フィジカルトレーニングサポート

- ・ 5 競技 8 団体

◆メンタルトレーニングサポート

- ・ 11 競技 14 団体

◆タレント発掘・育成(YAMAGUCHI ジュニアアスリートアカデミー)

- ・ レスリング、セーリング、フェンシング

◆スポーツ指導者講習会

- ・ フィジカルトレーニング、メンタルトレーニング

◆アンチ・ドーピング教育・啓発事業

- ・ アンチ・ドーピングに関する情報発信及び窓口の設置

◆情報配信サービス

- ・ YNS Network (7回)

2 国民体育大会派遣事業

(1) 第 69 回国民体育大会(第 69 回冬季大会)中国ブロック大会への選手団派遣

競 技	期 日	場 所	派遣人数
本大会 水泳他 31 競技	平成 26 年 6 月 21 日(土)～8 月 31 日(日)	島根県 (馬術：岡山県)	678 名
冬季大会 アイスホッケー	平成 26 年 12 月 13 日(土)～14 日(日)	島根県	28 名

(2) 第 69 国民体育大会への選手団派遣

競 技	期 日	場 所	派遣人数
本大会 陸上他 31 競技	平成 26 年 10 月 12 日(日)～22 日(日)	長崎県 (一部：福岡県 熊本県)	423 名
会期前開催 水泳、カヌー	平成 26 年 9 月 7 日(土)～14 日(日)		

※ 天皇杯総合成績は別途記載

(3) 第 70 回国民体育大会冬季大会への選手団派遣

競 技	期 日	場 所	派遣人数
スケート・アイスホッケー	平成 27 年 1 月 28 日(水)～2 月 1 日(日)	群馬県	18 名
ス キ ー	平成 27 年 2 月 20 日(金)～23 日(月)	群馬県	13 名

3 高校スポーツ奨励金制度の実施

県内外優秀選手の県内高校への進学支援を目的に奨励金制度を実施し、競技スポーツ活動の向上を図った。

- ◆ 5 競技 14 名

総合的スポーツ振興事業

1 山口県体育大会開催事業

「やまぐち総合スポーツ大会」の一環として山口県体育大会を開催し、広く県民スポーツの普及振興を図った。

部 別	中心開催日	会場地	参加者数
スポーツ少年団	平成 26 年 9 月 23 日(祝)	6 市	4, 1 3 4 名
高等学校	平成 26 年 11 月 9 日(日)	12 市 1 町	9, 2 5 1 名
一 般	平成 26 年 11 月 2 日(日)	8 市 1 町	4, 8 8 9 名
ス キ ー	平成 27 年 1 月 11 日(日)	広島県	1 6 6 名
合 計			1 8, 4 4 0 名

2 地域スポーツ振興事業

(1) 地域スポーツ振興の一環として、本県で開催される伝統的な競技会や全国・中国大会レベルの競技会に対して助成を行った。

- ・伝統的競技会：防府読売マラソン大会等 9 競技
- ・全国的競技会：全国大会 3 競技、中国大会 7 競技

(2) 地域スポーツの普及、振興を図ることを目的に、郡市体育協会・国体正式競技以外の加盟競技団体等が主催する各種スポーツ事業に助成を行った。

- ・郡市体協主催：1 1 事業
- ・国体正式競技以外主催：3 事業
- ・山口きらら博記念公園関連イベント：1 事業

(3) 地域住民にスポーツ活動実践の場を提供しスポーツ活動の定着を目指すとともに、公認スポーツ指導者の地域における積極的な活用を図るため、各市町体育協会が実施するスポーツ教室に対して助成を行った。

- ・実 施 数：2 2 教室（7 市体協）

3 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

(1) 巡回支援・実技指導(クラブ、市町等)

3 地域の広域スポーツセンターに総合型スポーツコーディネーターを 4 名配置し、市町教育委員会、創設支援クラブ、設立済総合型クラブへの巡回調査、育成支援、実技指導を実施した。

◆実施回数

東部広域 SC	中部広域 SC ①	中部広域 SC ②	西部広域 SC	合計
5 2	7 8	4 1	1 6 2	3 3 3

(2) 研修会等・スポーツ指導者等派遣

総合型クラブの啓発や普及、定着を図るために各種の研修会等を実施するとともに、各クラブ等の活動の充実を図るため、専門的な指導者・有識者等を派遣した。

◆会議・研修会開催

- ・育成連絡協議会 6 8 名
- ・創設・育成研修会 7 2 名 ※県内 2 地域
- ・クラブマネージャー養成講習会 3 回 1 7 7 名(修了者 1 7 名)

◆スポーツ指導者等派遣

- ・派遣団体 1 9 団体 (派遣延べ回数 計 1 4 6 回)

(3) 総合型地域スポーツクラブフェスタ

クラブ間での交流を促進し、各クラブの活動の充実を図るため、総合型地域スポーツクラブフェスタを実施した。

- ・交流ソフトバレーボール大会 9チーム 計42名

4 青少年スポーツ育成事業

「一人でも多くの青少年にスポーツの歓びを!」「スポーツを通じて青少年のこころとからだを育てる組織を地域社会の中に!」の理念の下に、本県スポーツ少年団組織の充実強化を図った。

また、主体的に実施する団活動活性化の取組に対して支援するとともに、2名の活動支援コーディネーターを配置し巡回指導や助言を行い、スポーツ少年団活動の活性化を図った。

(1) 登録促進事業

- ・団 数 859団
- ・指導者数 4,372名
- ・団員数 18,074名(加入率 小学生24.39%)

(2) 指導者・リーダー養成及び研修事業

- ・認定員養成講習会兼スポーツリーダー養成講習会の開催
- ・各種研修会への派遣
- ・ジュニア・リーダースクールの開催

(3) 団活動の充実強化事業

- ・山口県体育大会スポーツ少年団の部の開催
- ・全国・中国ブロック交流大会への派遣

(4) 国際交流事業

- ・日独同時交流事業の受入 美祢市10名
- ・日独同時交流事業の派遣 指導者1名、団員2名

(5) 顕彰事業

- ・山口県スポーツ少年団表彰 11団体・指導者15名
- ・日本スポーツ少年団表彰 1団体・指導者4名

(6) スポーツ少年団育成のための普及啓発事業

- ・「子ども遊び・スポーツ」推進事業 8市町実施

(7) スポーツ人材育成支援事業

◆スポーツ少年団活性化事業

- ・事業実施スポーツ少年団数 16市町118団
- ・参加人数 述べ15,239人

◆スポーツ少年団交流大会の開催

- ・期 日：平成26年10月26日(日)
- ・場 所：維新百年記念公園ラグビー・サッカー場
- ・参加者：7市 9チーム 122名

◆スポーツ少年団指導者スキルアップ研修会

- ・期 日：平成26年9月6日(土)～7日(日)
- ・会 場：山口県スポーツ交流村
- ・参加者：60名

5 国際スポーツ交流事業

スポーツを通じた国際交流の促進を図るため、市町体育協会が実施する事業に対し助成を行った。

また、日本体育協会が実施する日韓スポーツ交流地域交流推進事業を受け、友好親善と地域のスポーツ振興を図った。

◆助成事業 1市5競技

- ・実施団体：下関市---大韓民国釜山広域市
(剣道・バレーボール・ソフトテニス・グラウンドゴルフ・ヨット)

◆日韓スポーツ交流事業 1市1競技

- ・実施団体：長門市---慶尚南道・昌原市(剣道)

6 スポーツ指導者養成・研修事業

(1) スポーツ指導者養成講習会の開催

地域においてスポーツ活動の技術指導と中心的な役割を担う日本体育協会公認スポーツ指導者を養成するための講習会を開催した。

◆競技別指導者「上級指導員」養成講習会

実施競技	期 間	受講者
空手道	11/22.23.29 (3日間)	22名
上級指導員共通科目	12/6.7.21 (3日間)	22名

(2) スポーツ指導者研修会の開催

日本体育協会公認スポーツ指導者の資質向上を図るため、県スポーツ指導者協議会との共催で研修会を開催した。

◆中央研修会

- ・期 日：平成26年6月28日(土)
- ・場 所：山口市「パルトピアやまぐち」
- ・参加者：128名

◆西部地域研修会

- ・期 日：平成27年2月8日(日)
- ・場 所：宇部市「ココランド宇部」
- ・参加者：76名

◆東部地域研修会

- ・期 日：平成27年2月14日(土)
- ・場 所：周南市「周南地域地場産業振興センター」
- ・参加者：77名

7 顕彰・広報事業

(1) 顕彰事業

永年にわたり本県スポーツの普及・振興に尽力された功労者の表彰を行った。

- ・期 日：平成26年6月10日(火)
- ・場 所：山口市「常盤」
- ・受賞者：27名 ※ 受賞者名は別途記載

(2) 広報事業

ホームページや広報誌により、本県スポーツの普及啓発を図った。

- ◆広報誌発行(7月・2月)

山口きらら博記念公園管理運営事業

県民の多様なスポーツ活動を総合的に支援するスポーツ交流拠点として整備された「山口きらら博記念公園」において施設利用等(水泳プールを含む)の管理運営業務を行った。

また、県が主催するスポーツイベント開催に当たり、運営補助を行うとともに、県が主催するスポーツ教室では、受講者の指導に当たった。

財政基盤の確立事業

本協会の目的に沿った各種事業の推進に向けて、「チームやまぐち応援事業」の募集及び財政基盤の確立に努めた。

◆賛助会員	個人会員	229名
	企業・その他団体	83団体

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人山口県体育協会